

「おはよう
おはよう...」

"FGO" Unofficial Fan book
[Gudao x Mo-san]
Presented by Pe0

WARNING: For Over 18 ONLY!

WARNING:
R-18
For Adults Only





いつまでウジウジ
うなだれてやがんだ

……
って言いたい
とこだが……

カルデアが……
あんなことに
なっちまったって
言うんだからな……※



…で
用件は何だ？

こうして
霊基トランクとやらに
マスター自身の
魔力を通して

わざわざ此処に
オレひとり
再召喚したワケは

……



ん…
まあ…

…カルデアの補助がない
俺だけの魔力なんて
元々ないようなものだし
モーさんも今
そうやって
姿を保ってるのが
やっとなくらいだろ？

…そんな
ただでさえ
カスみたいな魔力を
無駄遣いしてるだけ



……
意味なんて…ないよ

これは俺独断の
自分勝手な行動



…そうしないと
俺ちょっと
挫けちゃいそう
だったから…



ただちょっと…
モーさんと
話したくて…

…ただ
顔が見たくて…



モ…
モーさん……

…あーもう！

こんなんオレの柄じゃ
ねえんだけどな！
クソ！

…今まで
どんな状況でも
テメエのそこまで
しょぼくれた顔は
見たことなかった

…よっほど
酷えモンを
見せつけられたん
だろうさ

モーさん……



…女の子の
いいにおいが
して……

折れそうなほど
細い腰なのに
すっぼりと
包み込まれてる
ようで……



モーさんの…
おなか…
あたたかい…

モーさん……



モーさん……

……あ
ありがとう……

じゃな
おやすみ



……オレが此処アイルムに
いるだけで
安心するんなら……

霊体化はしないで
おいてやるよ

……
寝顔が見てたきや
特別に見せてやる

……おい
マスター



アイルム……

だから……きつと……

あんな失態の後なのに
寝顔なんていう
無防備な姿を
許してくれるのは
彼女が全幅の信頼を
俺に預けてくれて
いるからだ



……

……同じ部屋に
彼女がいてくれるだけで
生まれる安堵感
何より
その純粹な親切心と
俺への好意が……
とても嬉しい

……きつと
自分の寝姿を
こんなことに
使われるなんて

優しい彼女は
夢にも思っ
ないだろうな

……ごめんね
モーさん…

モーさんのおかげで
安心できたなら
その反動で…

こうしないと
治まらなくて…

あのモーさんの
弛緩しきった寝顔…

…かわいい…

ちょ…直接言ったら
嫌だろうだから
言えないけど…

モーさん
かわいいよ…
本当にかわいい…
女の子扱いしたい…

長い睫毛
ふわふわの金髪…
ピンクの唇…
美少女すぎる…

好き…好きだよ…
モーさん…



後ろめたさは当然あつたけれど

それにこの服装…特にパンツ…えっちすぎる…
いつもチラチラめくられて気になるんだよ

誰に騙されて生前からこんなを着てるんだよ…ッ

極限の精神の中
ようやく思い出せた
安堵と性欲は…
あまりに強烈な誘惑で



あ
うう…ッ!

その時の俺にはその誘惑に抗えるような余裕はなかった



こ…この程度じゃ起き…ない…?!



しまっ…
…あ あれ

今の彼女は
魔力を大幅カットした状態で
現界にに応じてくれたために

一度眠ってしまうと
簡単には起きられない
らしかった

あ~~~~
寝ますつけえ
ぼんやりする……

ゆん

それに気づいてから……
彼女が眠るたびに……

……モーさん

ぐっすり寝ると
指しゃぶる癖……
あるんだよな……

……小さい頃に
親の愛を受けず
寂しい思いを
強いられた子は

成長しても
赤ちゃんみたいなお癖が
ずっと残るって
聞いたことある

モーさんも
きつと……

そうだよな……
見た目は俺と
そう変わらないし
俺よりしつかりしてるけど

ホントは……俺より
ずっと年下で……
まだ親に甘えたい歳の……

……そそそ
そんなモーさんに
俺……

最低だ……
最低だよ……



モーさんのおしゃぶり…
気持ちいいよ…ッ

気持ちいい…
…ごめんね…
モーさんごめん…
モーさん…ごめん…

あ…あ…
すごい…
すごい吸いつき…ッ

喉の奥まで…ッ



凄まじい罪悪感は
刺激と興奮に
転じていく

…俺の行動は
日に日に大胆に
なっていていった

…ほ ホントに
飲んでくれてる…

…魔力になるから
やりすぎると
目覚めちゃうかな…



モーさん…ッ!

で 出る…ッ
精子飲んで…
モーさん…ッ!

ちゅぽん…

「これくらいなら
やっても起きない」
検証を進め

こここの隙間…
一度入れて
みたかったんだ…

モーさんの
おっぱいでも
パイズリできる…

時には…
俺から流れる魔力を
わざと絞るとい
所業にも及んだ

そうなるともう
眠るといより
気絶させている
ようなものだ

俺を慰めるために
無理な召喚に応じ
寝顔を俺に預けてくれた
彼女の信頼を…
手酷く裏切ってる…

ああ…ッ
大ききなんて
関係ない…

モーさんの
おっぱいが…
最高…ッ!



そう思いながらも...

いいっぱい出ちゃった...

綺麗に... してあげないと...

オーン

オーン



モーさんの乳首...

唇と同じ...
綺麗なピンクで...
生意気そうに尖って...



乳首：
コリコリに：
意識なくても
体は反応するんだ：

モーさん
乳首すごい
敏感だな！
どんだん体が
熱くなってる

せめてモーさんにも
いっぱい気持ちよく
なってもらおう：





漏れ...えっ
潮...?

わわわわ
うわっ

た大変だ
早く
パンツを...

脱がすぬ...!?ぬ
今...
パンツを...!?

脱が...



最後一枚は
おもて
排泄の
姿とともに
暴いてしまった

恥ずかしい女の...一番
恥ずかしい部分を...

はわわわわ...

ズル...



もう
脳が沸騰している
ようだった

ももう
止ま………？

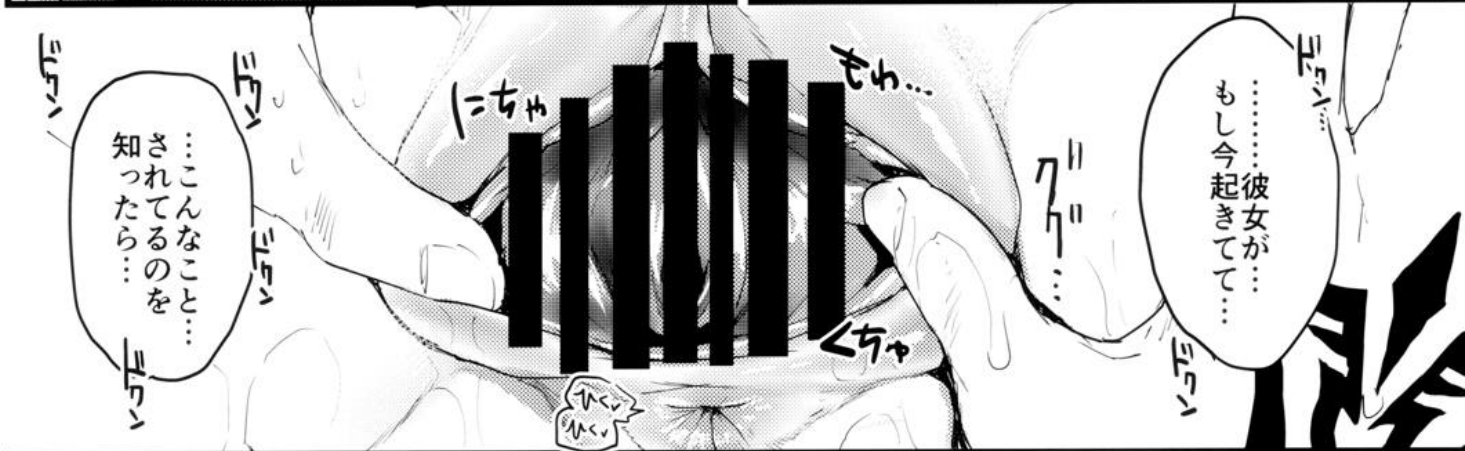


そのときの
背徳感は

殴りつける
かのように

勢弱
弱くなって
きた………

あ………



……こんなこと
知ったら……

………彼女が……
もし今起きてて……



……今モーさんは
どんなにか
恥ずかしいだろう
屈辱だろう

………あ
熱……ッ
狭いのにとろつとろで……
ヒクヒク動いて……

俺は殺されても
文句は言えない
だろうな

……ッ
……モ
……モーさんの
……おしっこの
……味と匂い……
……エロすぎ……ッ

そんな
どこか冷静な
考えも

むしろ高揚を
後押しする
ばかりで

す……
吸い込まれる
みたい……ッ

……ここに
……入れたら……
……どんなに……

もう自分でもわけが
わからぬまま

ごめ…んね…

最後の
一線を――

ごめんね…
モ…さん…ッ

ツツ…

ツツ…

ツツ…

ツツ…

ツツ…

ツツ…

ツツ…







モーさんの
エッチな匂いで
いっぱい……

部屋が……



こんな……
どれだけやっても
止まんないよ……



……う……わ
とろ……とろだ

……顔
顔見せて……
モーさん



感じてる顔
かわいいよ...

モーさんも...ッ
モーさんも
きもちいい？



起きてる
モーさんとも...
こんなことが...
できたら...

モーさん...ッ



……ッ
またでる
また出るッ

モーさんの
胎内に...!!
だすよ...!!

モー……さん……ッ!!

——その時

自分を律せずに
精液まじりくを
注ぎすぎたのか

口腔の粘膜接触が
駄目押しと
なったのか



……ふん……ッ?



.....
!!!

——令呪という最悪の非常手段も
もちろん考えていた

だけれど何もできなかった

彼女の本来の力量を考えれば
俺の首が十度は斬り飛ばされていた

少なくともそれくらいは時間
何もできずにいた

フラグ管理:
サーバントステータスを
確認



たっ。



.....
だが

.....
へ?

え?

モーさ.....
モー.....さん.....?

結局のところ...
その夜起きたのは
それだけ

彼女はそれきり
朝になるまで
目覚めなかった



.....結局アレは...

目覚めたのか?
いないのか...?
寝ぼけていただけ...?

以下
パラメータを
表記



翌朝

彼女は.....
何も言わない...

相変わらず
寝起きが辛そうな
顔をしているが

サーバント名
「モードレッド」



はぁ...♡

.....
わ 悪い気は
決してしねえ
夢だった.....し.....

テメエを...
励ましてた...って
いうか.....
ああするの
もしかしたら
有りなのか...
っていうか.....

絆Lv:10

ルート
絆Lvに応じた分岐事象が
解放されています



.....
ごめんね
モーさん...

愛しています...

.....俺は彼女に
(著しく恥辱を与える
詳細は割愛しつつ)
すべてを話し謝罪した
だいが激しい
俺の罪に比べれば
軽いものです

それから俺は
異聞帯を駆けなが
出来る限りの償いをし
互いに感情を整理し
およそ1ヶ月後
きちんと起きた
状態の彼女と
やり直しました
もう二度と彼女を
裏切りません

は!?

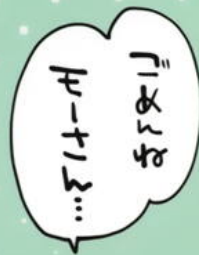
え?



.....あーもう
なんでもねえ
なんでもねえ!
もとはと言えば
マスターが初日にあんな
押っ立てやがるから.....

か
.....!

<ごめんねモーさん...> おくづけ
■ 発行日 : 令和元年 8月12日
■ 印刷所 : 有限会社 ねこのしっぽ 様
■ 発行者 : Peθ
◇ 代表 : もず
◇ E-Mail l.bucephalus@gmail.com
◇ Pixiv id=11342
◇ Twitter @L_bucephalus / @b_l_a_n_c



"FGO" Unofficial Fan book
[Gudao x Mo-san]
Presented by Peθ

WARNING: For Over 18 ONLY!

